

平成29年8月28日

各位

株式会社 みちのく銀行

RESASを活用した青森県アグリビジネスの「稼ぐ力」向上への取組みについて

みちのく銀行（頭取 高田 邦洋）は、東北経済産業局の「RESASを活用した施策立案支援事業（※）」に応募し、東北の金融機関として初めて認定されたので、お知らせいたします。

本事業は、当行がRESASを活用した分析を基に、青森県のアグリビジネスの「稼ぐ力」の向上に資する施策を立案する取組みです。

みちのく銀行では、地域の活性化に向け、ビッグデータを利用した取組みを官民一体となって推進してまいります。

記

《採択事業の内容について》

1. テーマ

「(仮) RESAS×金融データ＝青森県のアグリビジネスの成長戦略」

2. RESAS活用の目的

(1) アグリビジネスの「稼ぐ力」の向上

当行では、青森県の基幹産業である農林水産業をはじめとした食関連産業を「アグリビジネス」と位置付け、各種施策を展開しておりますが、RESASの活用によりビッグデータを可視化し、かつ当行保有の金融データと融合させることで、より効果的な施策を立案し、アグリビジネスの付加価値向上および生産性の改善など、「稼ぐ力」の向上を目指す。

(2) お客さまへの提案の客観性・具体性を強化

これまで、当行保有の金融データあるいは担当者の経験等に基づく提案がなされていた部分について、RESASを活用し定量的な分析を行うことで客観性・具体性を強化し、事業者および自治体に対して、より実現性の高い提案を行う。

3. 今後のスケジュール

平成29年8月30日（水）	東北経済産業局職員によるRESAS操作研修会 （本部職員対象／約15名参加）
平成29年9月～ 平成30年2月	当行は以下の作業を実施 ・RESASを活用したデータ分析 ・RESASと当行保有データを活用した分析 ・施策案の取りまとめ
平成30年3月	施策の内容公表（東北経済産業局HPにも掲載予定）

※RESAS（リーサス：地域経済分析システム）を活用した施策立案支援事業

東北経済産業局が平成29年度から実施している、RESASを活用した地域の分析から施策立案までのステップアップを図ることを目的に、ハンズオンで継続的な支援を行うもの。金融機関への認定は東北では当行のみ。

以上